



らくびお 楽Bio通信

2022年
8月号

NS乳酸菌革命記

乳酸菌は、抗生物質をつくることでできます。菌が培養状態になると、抗生性のタンパクやケミカルをかなりつくり出します。私たちはその実験を行いました。

ロシアの微生物学者のメチニコフ氏は約百年前、シベリア近辺の長寿村を調査し、長寿の秘訣は、ブルガリアのヨーグルトを毎日飲んでしたことだとしました。その後、草原の遊牧民の飲み物であるヨーグルトは都会に移り、チーズ臭い天然発酵乳から、甘酸っぱいものになりました。

遊牧民の発酵乳は、そのままの状態数年間もちます。それはなぜでしょうか。草原の発酵乳は、毎日搾った新しい乳を入れて連続培養すると、乳酸菌の成長が止まらなくなり、それによって、メチニコフ氏の推奨した長寿の飲料になります。

しかし、われわれがそのブルガリア菌を採取し、試験管あるいはステンレスタンクに入れて、自然の牛乳や馬乳などの栄養物質を使わずにほかの培地で培養すると、ブルガリア菌の乳酸菌は、その性質まで変わってしまいました。

その実験から、同じ乳酸菌でも野生と養殖の違いがあると考えられま

す。乳酸菌の製品をつくるときには、その目的を考えて、培養の仕方を工夫しなければならぬという結論に達しました。

つまり、腸内のさまざまな細菌と共生させるには、共生できる原生性（共生性）乳酸菌をつくり、反対に、炎症や感染を抑制するためには、抗生性乳酸菌をつくれればよいのです。詳しくは後述しますが、その違いを知ることが大切です。

腸内で有害な毒素を生み出すのが、悪玉菌です。乳酸菌のような善玉菌が少なく、腸内に免疫のバリアがなくなってしまうと、悪玉菌はやりたい放題となり、病気をもたらします。そんな菌には、いてもいたくない。こう思われるかもしれません。

でもそれは違います。悪玉菌といえども、いてもいわなくては困ります。ドラマに善玉ばかりではなく必ず悪玉が必要なように、腸内にも一定量の悪玉菌にいてもいわなくては、私たちの健康は保てません。

なぜかという、悪玉菌にも立派な役割があるからです。悪玉菌はなぜ増えるのでしょうか。

一つは食べすぎた時です。未消化のものがあると、大腸の悪玉菌がそれらをエサにして有害なガスを発生させます。食べすぎると小腸での消

化が間に合わず、大腸の悪玉菌にエサを与えて喜ばせるのです。

彼らは元気になって増殖します。悪玉菌の代表格は、ウォルシュ菌です。この菌は腸内を腐敗させます。ブドウ球菌は毒素を発生させ、病気のもとをつくり出します。ある種の大腸菌はガスを発生させ、発がん物質をつくり出します。

こんな悪いことばかりする菌は、お腹のなかにもいません。でも、もともとは、食べすぎた自分が悪いのです。そもそも善玉、悪玉と名付けたのは人間であって、彼らには何の罪も責任もありません。

彼らは自分たちが生きるために、当たり前行動をしているだけです。それがたまたま人間に有害であった、というだけです。それだけでなく、私は悪玉菌にも「いてくれてありがとう」というくらいの存在意義を認めています。

もし、悪玉菌がいてくれなかったら、もっと悪い、もっと怖い細菌が寄ってくるかもしれません。悪玉菌を腸内にもつことは、それ以上の悪い菌を遠ざけることでもあり、健康のためには必要なことなのです。

しかし、少なくとも一万年前と比べても、人類の命の営み方は基本的には変わっていないのです。一万年

前の人類も私たちと同じような腸内菌をもって、健全に生きていました。むしろ、今のほうが抗生物質や食品添加物を摂り入れる機会が増えた分、腸内環境を悪化させているでしょう。

腸内菌で大切なのは、バランスです。悪玉菌も善玉菌もしっかりいて、それぞれが自分の縄張りを守って、安定していることが重要なのです。そのためには悪玉菌を毛嫌いするのはなく、彼らの存在を認めることです。

存在を認めたらうで、悪さをするチャンスを与えない。そのチャンスを与えるしまうと、腸内菌の多数派である日和見菌が、悪玉菌に影響されてしまいます。この状態が、一番好ましくありません。なにやら腸内菌の世界も、人間社会を見るようです。

腸内菌のバランスをとるためには、食べすぎないとかストレスに強くなるといったことも大切ですが、一番手っ取り早いのは、乳酸菌に任せること。乳酸菌を欠かさず補っていれば、善玉菌と悪玉菌のバランスがくずれず、健康を保つことができます。

「NS乳酸菌が病気を防ぐ」より抜粋



※個人の感想であり、効果効能を示すものではありません。

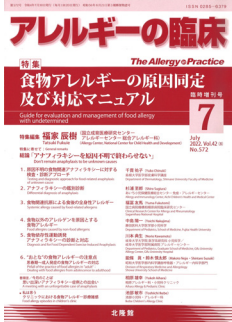
「大草原の乳酸菌」 お客様の声

1日に1粒 朝食前にお水で飲んでます
約2ヵ月
飲み始めてすぐ効果が実感できました。
便秘ではなかったのですが、トイレの時間が長く
仕事の日の朝などは急ぐので困っておりました。
それが自然と感じてスッキリ 気持ちよくなるようになりました。
すごくたすかっています。

40代・女性・沖縄県在住

乳酸菌の力を借りて毎朝食べています。毎日900mlのNS-Max1粒、
NS-Slim1粒を2粒、4日性を食べいています。毎日で、数分少減です。
昨年11月頃からです。ストレスレベルが少し下がった感じがします。
先ほど、家族のほとんどが胃腸炎にかかっていたのですが、私だけ何事も
ないです。大草原の乳酸菌のおかげか? と思っております。

50代・女性・宮城県在住



「TVホスピタル」(2022年7月)
大草原の乳酸菌が掲載されました



「TVホスピタル」(2022年7月)
大草原の乳酸菌が掲載されました

メディア掲載



内モンゴル自治区フフホトの大草原

地方創生SDGs 官民連携 プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。
(株)ラクアは7月17日に創業13周年を迎えることができました。この度、「地方創生官民連携プラットフォーム」の会員となり、今後様々な課題解決に向けて活動して参ります。

お知らせ

企業様のご紹介 株式会社ラクア



ラクアは、ロングセラーサプリメント『大草原の乳酸菌』を販売しております。創業13周年を迎え、引き続き、しあわせな「共生」の実現を目指し、「人」と「自然」に喜ばれる企業であり続けます。今後もNS乳酸菌株を利用して健康貢献・社会貢献して参ります。



次の講演の準備をおこなっています。今しばらくお待ちください

「バイオレゾナンス医学会」(2022年7月)
大草原の乳酸菌が配信されました

しゃがあの 日蒙文化交流支援

ラクアが支援している日蒙文化交流活動です。賛助会員を募集しております。



バンベンの 砂漠緑化支援

ラクアが支援しているモンゴル地方の植林活動です。



NS乳酸菌で 良質な堆肥づくり

岐阜県高山市でNS乳酸菌を活用した特別な堆肥づくりが行われています。ラクアでは(株)スピリットが推進する持続可能な社会的農業を応援しています。



笑顔プロジェクトで 子ども食堂支援

笑顔の自画像イラストを作成することで、作成費用の一部が「子ども食堂食材支援」に使用されます。ぜひ笑顔プロジェクトにご参加ください。



電話でのご注文・お問い合わせ

フリーダイヤル
0120-098-529

※受付時間/9:00~21:00(土日祝日も承ります)

ホームページでのご注文・お問い合わせ

大草原の乳酸菌 検索



大草原の乳酸菌



楽Bio通信